

競 技 注 意 事 項

本大会の競技は、2018年日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項により行う。

1. 練習について

ウォーミングアップや練習は、すべて競技場外側の多目的グラウンドを使用することとする。
(競技場外の周回コースは順走のみとして、ジョッグのみ利用可能とする。スパイクの使用は不可とする。) また、競技場内の練習は朝の開始式10分前(8:50)までは可能とする。
投てき練習(砲丸・メディシンボール)については、多目的グラウンドの指定された場所のみ可能とする。投てき器具は各自準備すること。(ただし、円盤を使った練習においては競技前の現地での公式練習のみとする)時間等についてはその場の指示に従うこと。

2. 招集について(競技日程表を参照)

ア. 選手招集所は、正面玄関東側の雨天練習走路に設ける。

イ. 招集開始時刻はその競技の開始時刻を基準とし、下記のように定める。なお、詳細は競技日程表を参照すること。

トラック競技・・・1組～4組 30分前に開始し20分前に終了する。

5組～ 15分前に開始し5分前に終了する。

フィールド競技・・・50分前に開始し40分前に終了する。

ウ. 招集の手順

競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し点呼を受ける。その際、係員にナンバーカードとスパイクの確認を受けたのち、係員の誘導に従って入場する。

3. 競技について

ア. 危険防止のため、各走者はフィニッシュ後レーンに沿って曲走路を走る。

イ. 本大会のトラック競技はすべて写真判定による電気計時とする。したがってトラック競技出場者は右腰やや後方に、主催者が用意した腰ナンバーカードをつけること。フィニッシュ後はその腰ナンバーカードを役員に必ず返却する。

ウ. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の順とする。決勝の組み合わせは、番組編成員により公正に抽選のうえ決定する。編成された組み合わせは招集所に掲示する。

エ. 決勝進出における α は100分の1秒単位とする。同タイムが多くレーンが不足する場合は1000分の1秒まで読み取り、進出者を決定する。ただし、同記録者がありレーン数が不足する場合は、本人の抽選により決定する。

オ. ナンバーカード(横22～24cm×縦18～20cm)は太さ2cm程度の明瞭な文字で書きユニフォームの背と胸に付けること。(跳躍競技は背または胸いずれか一方でよい。)なお、テープで加工したり折り曲げたりしたものは不可とする。

カ. リレー種目について

① リレー競走については、競技規則第170条を厳守すること。(オーダーの編成は「リレー競走の2008ルール変更に伴う注意事項」を厳守すること。)

② 同一チームの4名は同一のユニフォームを着用することが望ましい。

③ 各走者は1カ所にかぎり粘着テープをマーカー(テープの大きさは50mm×400mm以内)として使用できる。

④ 各走者はバトンの受け渡しを終えた後は、他の競技者のじゃまにならないようレーン内にとどまること。

⑤ リレーオーダー用紙は、学校受付で所定の用紙を1チームにつき2部ずつ受け取り招集開始時刻1時間前までに競技者係に提出する。

キ. 競技規則第162条5項(c)『「位置について(on your marks)」の合図の後、ある競技者が音声その他の方法で他の競技者をじゃまするような場合は不正スタートとみなされる』により、スターターの「位置について(on your marks)」の合図で「お願いします」等のかけ声はかけないこと。

ク. 「不適切なスタート動作(不適切行為)」があった場合は、グリーンカードによる注意を与える。また、同一競技者による注意が多発した場合は、審判長等により警告を与えることがある。(競技規則第162条5項)同じ競技者が同じレースの中で2度の警告があった場合は、不正スタートとみなす。不正スタートを行った競技者は1回で失格となる。

ケ. 次のラウンドへ進出できた競技者でやむなく次のラウンド(決勝)を棄権する場合は総務まで棄権届を提出すること。棄権届は総務に申し出て受け取ること。

コ. 男子三段跳においては、踏切板から砂場までの距離を9m00とする。

サ. 円盤投においてはセレクションラインを設ける。男子は2.0m0.0、女子は1.5m0.0とする。

4. バーの上げ方

	種 目	練 習	上 げ 方
男子	走 高 跳	1. 4 0 5 5	1.45-1.50-1.55・・・1.70-1.73 以上3cm
	棒 高 跳	2. 1 0 6 0	2.20-2.30-2.40・・・2.90-3.00 以上10cm
女子	走 高 跳	1. 1 5 3 0	1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45 以上3cm

※走高跳、棒高跳の練習は上記のように二段階で実施するので、どちらかを選択すること。
※第1位が同成績の場合の順位決定は同成績の競技者全員が成功した次の高さで行い、その後のバーの上げ下げは走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

5. 表彰・学校対抗および得点について

- ア. 決勝において第3位までに入賞した競技者は、決勝結果の通告後すみやかに表彰席に集合のこと。（表彰には競技服装・運動靴で臨むこと。）
- イ. 学校対抗における団体表彰は男子総合・女子総合・男女総合とも第6位まで行う。
- ウ. 学校対抗得点は各種目1位8点、2位7点、・・・・、8位1点とする。

6. 救急医療について

出場選手の競技中の疾病および傷害については、応急の処置は行うがそれ以後の責任は一切負わない。また、大会中の疾病および傷害については、必ず総務に届け出ること。

7. 開始式、表彰式について

開始式は9:00から行う。前年度総合優勝校代表のみ整列して行う。また、閉会式は行わず、団体表彰のチームのみの表彰式を競技終了後準備が出来次第行う。

8. その他

- ア. 応援などを含め競技のマナーをよく守り中学生競技者として恥ずかしくない行動をとること。競技運営に支障ある行為をしたときは、審判長あるいは場内指令は競技規則第125・133条に基づき当該者に対する警告あるいは競技からの除外を命ずることができる。さらに当該者のチームに以降の出場を辞退してもらうこともありうる。また、施設・器具の使用については大切に取り扱い、清潔美化に努めること。特に更衣室・便所などの使用は常に清潔保持に留意すること。
- イ. 競技者・競技役員・補助員・大会役員・報道関係者以外の者は競技場内には入らないこと。特に競技者の付き添いや応援または記録を測るためなどの理由で入らないこと。また、競技者はトランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用しないこと。（第144条により競技者への助力とみなされ失格となる場合がある。）
- ウ. 競技場での競技者の移動はスタンド外を利用すること。特に本部前の通行およびメインスタンド下は立ち入り禁止とする。また、フィニッシュした競技者がスタート地点に戻る場合、スパイクを脱いで競技場を出るか、競技場内の外側スペースを通過してスタート地点に戻る。（競技場外側でのスパイクの歩行は禁止。）
- エ. 助走マークやリレーマークなどで使用したテープは、確実にはがして持ち帰ること。
- オ. 自校応援席の清潔保持に努めること。清掃の時間には参加者全員で清掃し、ゴミは各校で確実に持ち帰ること。また、スタンド・更衣室は常に清潔保持に努めること。
- カ. 貴重品等の管理は各校で十分注意すること。
- キ. メインスタンドのテント類の設置は中段より上部のみ許可する。また、観覧席最前列には立たないこと。
- ク. 競技開始前の競技場でのウォーミングアップは1・2レーンを周回レーン、3～9レーンを流し・ダッシュレーン（ただしメインストレートの8・9レーンはハードル専用レーン）とする。また、リレーのバトン練習に関してはバックストレートのみとする。